

輸出事業計画

※申請者名：株式会社マルキチ、品目：冷凍帆立貝柱

1. 輸出における現状と課題

【現状】

北海道のホタテは、MSC漁業認証を取得していることから、MSC認証水産物の知名度が高いEU諸国での評判は、極めて良好である。また、漁場の環境が良好なため、加工技術による高品質・高鮮度が維持されることから、EU諸国のニーズでもあふる希少な生食が可能な、冷凍ホタテ貝柱の供給が可能となっている。

【課題】

EU向け輸出水産食品取扱施設定期監視時の指摘事項の改善が求められていることと、作業員のストレス等につながる環境整備が必要である。また、EU当局の規制等の変動に対応していくための情報収集も課題になる。

2. 輸出事業計画の取組内容

【EU向け輸出水産食品取扱施設の認定維持のための施設改修】

EU向け輸出水産食品取扱施設の認定維持のための施設改修を実施することと、作業員のストレス等につながる環境整備を実施する。

【EU当局の規制等の対応】

EU当局の規制等の変動に対応していくための情報網については、ジェトロ・GFP・海外バイヤーによるところが多いことから、ジェトロのウェブ、GFPのメール配信、輸出商社を介しての海外バイヤーからの情報収集に取り組んでいく。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

【Plan】

株式会社マルキチが主体となり、生産者、商社と調整をして計画を作成

【Do】

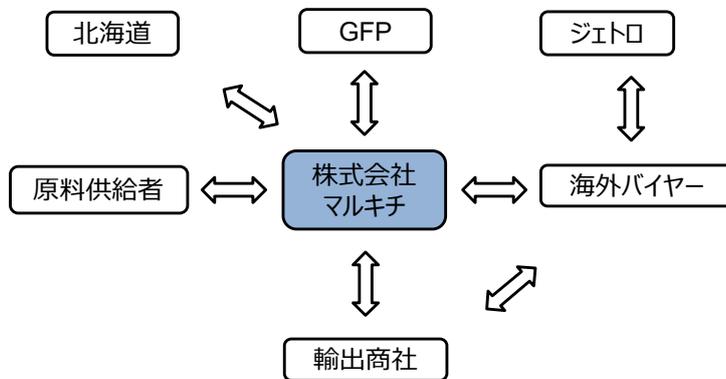
生産者、商社と協力して事業を実施
コンサル、金融機関等がサポート

【Check】

支援機関等が中心になり、事業の進捗状況、事業成果を確認

【Action】

指摘事項を踏まえて、事業課題を整理して、事業改善



4. 輸出目標額

	現状（令和3年）	目標年（令和6年）
輸出額（千円）	2, 414, 155	2, 515, 000
輸出量（t）	854	890
輸出先国	EU諸国	EU諸国